

《めざす子ども像》

- ▶ 自らすすんで学ぶ子ども
- ▶ 互いを認め合い自分と相手を大切にできる子ども
- ▶ 健康や安全に気を付ける子ども

令和7年1月24日 発行者 柴山 敬

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/>

3学期こそ「ワンランク上の自分」へ
子どもの「主体性」をはぐくんでいきましょう！

16日間の冬休みが終わり、全校児童がそろって3学期を迎えることができました。保護者や地域の皆様、本年もよろしくお願ひいたします。

昨年末はインフルエンザ流行のため、1学年で学年閉鎖、6学年で学級閉鎖があり、2学期終業式は全校児童がそろってことなく、感染防止の観点からオンラインで行いました。3学期の初日にこうして全校児童が会することができることをうれしく思いました。

さて、始業式では、次の言葉を子どもたちに提案しました。

- ①「よっしっ！」とつぶやき、一歩踏み出す！
- ②ワンランク上の自分を目指す！

これらは、これまでも何度か取り上げてきた言葉です。3学期は一年の中で最も短い期間になりますが、進学や進級を控え、その準備をする大切な時期です。特に6年生には「こうありたい自分」「こうありたい学級」のイメージをもち、クラスメートや担任の先生と一緒にそれらに近づけるように一日、一日を大事に過ごしてほしいと思っています。他の子どもたちには、これまでチャレンジしてもできなかったことや、少しだけ背伸びしたらできそうなことに思い切って挑戦してみしてほしいと思います。

自分(たち)で決心して行動することは大事なことです。その結果うまくいかなかったとしても「ワンランク上の自分」に近づくことは間違いありません。私たちを取り巻く環境は複雑さを増し、将来の予測が困難な時代とされていますが、こ

うした時代であるからこそ主体的に生きる力が必要となります。「主体性」は、すぐに身に付くものではなく、様々な経験や体験を通じて得られるものです。とりわけ、子どもが「自分が選んだ」という自覚をもって行動する経験を多く積ませていくことが重要です。

結果を問わず「意志決定・行動選択」を積み重ねる

「意思決定・自己選択」の「意思決定」とは行動を自分で決めることで、「行動選択」とは意思決定に沿って具体的に行動することです。家庭では起床や食事、身の回りの整理整頓、手伝いな

日	曜	2月の行事予定
1	土	北栄げんきクラブ
3	月	にじいろタイム⑥
6	木	Sアップ おび学(防災3年) 読み聞かせ(2年) 合同スキー・そり学習(そらいろ)
7	金	お楽しみ集会 薬物乱用防止教室
12	水	Sアップ Jアラート訓練
13	木	読み聞かせ(1年)
15	土	北栄げんきクラブ
17	月	参観日(6年)
18	火	参観日(3年) ALT(5・4年) オーバルスケート学習(全学年)
19	水	参観日(4年) ALT(6・5年) Sアップ
20	木	参観日(5年) ALT(3・6年) 読み聞かせ(3年)
21	金	参観日(1年) 国際交流員来校(3年)
25	火	児童会⑩ ジャンボ書道(6年1~4校時)
26	水	参観日(2年) Sアップ
27	木	参観日(そらいろ) 読み聞かせ(2年)
28	金	朝会

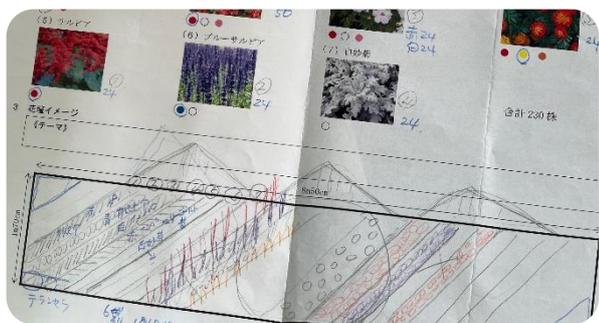
どの場面を、地域ではイベント運営の手伝いや下級生の世話などの場面を活かしましょう。たとえ上手にできなくても繰り返し経験させ、子どもが「一步踏み出し行動」したことに感謝の気持ちを伝えたり、励ましたりしながら一緒に子どもの「主体性」をはぐくんで行きましょう！

来年度の花壇デザインを考案！ 地域の方々が「花＊花プロジェクト」に参加

12月19日（木）、北栄地区の「北親ふれあいサロン」で活動されている皆さんが、来シーズンの花壇のデザインを考案してくださいました。同サロンの皆さんは、今年6月の本校敷地内の花壇の苗植えにも子どもたちと一緒に参加してくれました。



前回は、すでに用意されていた苗をもとに、植える時にその場でデザインを考えながら作業しました。しかし今回は、事前に花壇のデザインを考え、花の色や茎の丈などを考慮して苗の種類や数を決めました。



デザインの家は2つ。1つ目は苗を直線的に並べつつ、苗の高さと色を変化させながらいくつか

の山ができるようにするデザイン。2つ目は大きな円を3つ描き、そのすき間に色違いの苗を配置するもの。どちらのデザインになるかは、来春のお楽しみ。この作業は1時間以上になりましたが、どの方も熱心に参加してくださいました。本当にありがとうございました。

帯広一中による乗り入れ指導

昨年12月、帯広第一中学校の体育科や英語科などの先生が来校し、6年生の体育（跳び箱）や外国語、学活の授業を指導してくださいました。本当にありがとうございました。



体育の授業では、子供たちは、開脚とびや台上前転、抱え込み跳びなどに挑戦し、跳び方のポイントやコツなど、アドバイスをもらっていました。発展技「頭はね跳び」では、一中の先生が手本となり試技を見せると、子供たちからは歓声があがっていました。

外国語の授業では、はじめにアルファベットビンゴで発音のおさらい。その後、中学校生活への期待感について英語の質問用紙をもとに話し合う時間もありました。



学活では、第一中学校がどのような学校なのか。小学校との違いなどを交えながらわかりやすく説明してくださいました。特に勉強や進路の話については、子供たちは真剣な表情で聞いていました。